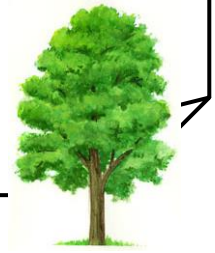




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和5年5月10日(火) No.3 文責 校長 島田 二郎



体育会に向けて、学校は活気づいています！

長いゴールデンウィークが明け、学校では本格的に体育会練習が始まりました。今年度の体育会は、コロナ禍のため午前中の半日開催となります。種目数も減ります。1人あたり4種目出場します。①個人種目となる走競技、②学年種目、③大縄跳び、④ブロック演技、の4種目です。これにブロックから選出された選手のみブロック対抗リレーに出場します。



この中で、子ども達が盛り上がるのが『ブロック演技』です。去年は、感染症の関係で体育会が中止となり、ブロック全体での演技はできなくなりました。太西フェスタとして、3年生と1、2年生ブロックリーダーのみでブロック演技をしました。今年、全校生徒が参加してブロック演技をする予定です。

体育会の意義には、心身の健康や集団づくり等、様々なものがあります。中でも、学年縦割りの活動に意義があります。3年生は、最上級学年として、リーダーだけではなく、学年全体で、下級生を引っ張る行動が求められます。2年生は中堅学年としての動きが必要です。1年生は、中学校の様子が分からないなか、上級生の動きを見たり、指導を受けたりすることで、学ぶものがあります。体育会成功のために各学年が協力して取り組むことで、学年を超えた絆が生まれ、伝統が引き継がれていきます。



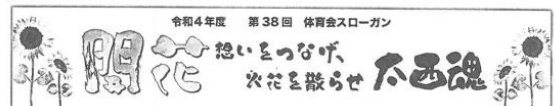
中学校では、委員会活動や部活動においても学年縦割り活動がありますが、体育会は最も大きな学年縦割り活動と言えます。体育会をとおして、太宰府西中学校がさらにより良い学校になることを期待します。

体育会をとおして『開花』します！

第38回体育会スローガンは、『開花 ～想いをつなげ、火花を散らせ、太西魂～』となりました。このスローガンを見ていると、こちらも熱い気持ちになってきます。やる気が湧いてくる、とても素敵なスローガンです。このスローガンは全校生徒の意見を集約した後、生徒実行委員会で決定しました。全校生徒の想いが詰まったものです。

体育会は、このスローガンをはじめ、各ブロックの演技やパネル、競技運営等、多くの活動が生徒による自主運営となります。子ども達の手で作られる行事です。体育会をとおして、子ども達の自主運営能力がどれだけ開花するのか、楽しみです。

★第38回体育会 スローガンは



開花
～想いをつなげ、火花を散らせ 太西魂～

です。

「開花」に込められた想いは、二年間開催できなかった体育会を今年こそは開催することができ、自分たちの成長につながる行事にしたいと考えました。そして、第37期生徒会スローガンである「向日葵 ～咲きほこれ、満開の笑顔～」を達成するために、この体育会を通して、一人ひとりが笑顔を咲かせ、太西の向日葵を満開に近づけるような行事にしたいという想いを込めました。

サプスローガンの「想いをつなげ」に込めた想いは、全員が笑顔になることで向日葵のような輝かしい花を咲かせたいという思いが込められています

また、「火花を散らせ太西魂」に込めた思いは、「向日葵」の花言葉には「情熱」という言葉があります。生徒一人ひとりの情熱と熱き闘志が体育会をより盛り上げ良いものにするという思いが込められています。

